

●カスミサンショウウオ観察会 17日 15人の参加

これまで発見した新記録24卵囊が見つかる。昨年の成体発見は1月22日午前10時30分ごろでした。それから1年が経過、今年数回の調査では成体が発見されませんでした。関係者一同は、産卵が行われるのだろうか大変心配していました。

ようやく卵囊が8個ほど見つかったという一報に命がつながったと胸をなでおろしました。そして3月17日(土)の午前中に合計24個の卵囊が発見されました。これは、これまで10年の観察調査記録の新記録なのです。17日の調査会に参加した大半の人々は初めて目の前で発見でしたので、随分と感激されました。一挙に24個の卵囊に出会えるなど、なかなか体験できるものではありません。本当にラッキーな出会いでした。この発見で環境条件が異常なく、生息できる環境が保たれていることが証明されました。

この発見を通じて感激された喜びを、このまま胸にしまうだけではなく、この生き物がわずかに生き残れる環境をどう維持し、さらに良くしていくのか、そのために私たちはどう行動するのかという立場に立っていただくことが必要です。私たちは「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンで活動を続けております。

ご入会いただき少しでも仲間の輪やつながりを大きくする活動にご参加ください。ご入会大歓迎。

●地域説明会連続5回開催の最終回が成功

木津川市山城町のアスピアの大ホールに135枚の展示物を展示しました。またご来場いただいた皆さんに記帳をお願いした全合計は137人でした。

アスピアに來られたあるご婦人は展示準備の作業中にも関わらず、床に座り込んで説明文を隅から隅までしっかり読みふけておられました。135枚の説明文を読み切ることは不可能に近い分量になります。こんなにしっかりご覧になっていただく姿を見て、展示する側も心を強く打たれました。

アスピアのホールは展示ブースの運び出しはもちろん組み立てなどもこれまでより手際よく進めることができました。運び込むブースが台車に乗せられていてフロアに段差がなく水平移動なので随分とスムーズに進められました。フロアは広くて大きくて天井も高く素晴らしい会場でした。中央付近に竹蛇籠を設置して会場の急所を決め、休憩用のイスを適当に空間を埋める小道具に使い設営の出来上がりは10時前でした。作業開始から1時間40分で完成できました。説明会用に印刷した里山の会のタペストリーが見つからず残念な結果になりましたが、それを補って素晴らしい展示会になったのは内容のある展示物の数々でした。

そして和みと温かさを演出したのは木津川の花の写真が彩を添え、さらに内容のある解除装飾に彩りを発揮しました。見つからなかったタペストリーは、後日倉庫で見つけることができました。紛失していませんでした。

●木津川希少種植生管理業務 完了届提出15日

今年の、さとやまの会の筆頭イベントは木津川希少種植生調査管理業務の受注ではないでしょうか。

20年間にわたって、国交省に希少植物の保全管理維持作業を行ってほしいと強い要望を行ってきました。また河川協力団体の登録にも挑戦して、その資格を得て認定されたことも大きな成果であります。3月度の除草作業も完了したので、届け出を提出しました。これも少しの手直しを指示されぐらいで、3月15日に完了届を受けましたとの口頭返事をいただきました。

●2018年度引き続き木津川希少種植生調査管理業務が決定したと連絡が届く

公募がされて、申請書を提出しましたところ、里山の会以外に申請書を提出がなかったようです。それで発注の連絡が届きました。次のステップとして契約書の業務計画書の提出となって、年度当初から作業が始まります。里山の会は木津川のレッドデータブックに掲載されている希少種107か所を特定し、その生育調査を行ってきました。併せてこの107か所について確認作業を行い、業務と指定されている

27 か所について報告を行うことになります。会員皆様のご協力をお願いいたします。

●自然環境保全京都府ネットワーク年度総会

3月21日(水)13時から17時まで70人の出席で京都駅前のキャンパスプラザで開催される 活動報告や新年度の役員選出、事業計画を決定。その後、活動紹介を含む自由発言交流会が1時間30分間では、京都市の課長から市行政として東山・北山・西山での事業、例えば菊谷でのキクタニキクの復元作業などが紹介されました。会長は竹門康人・京都大学准教授、副会長は宮崎俊一・乙訓の自然を守る会代表と、伴浩治・NPO自然観察指導員京都連絡会会長など全役員が再選されました。加えて幹事として鈴木康久・京都産業大学教授が新たに加わり体制が強化されました。

●春の訪れを告げるイヌナヅナ 開花する

八幡市の木津川で20本開花となる。

●国土交通省近畿地方整備局の業務研究発表会の日程が届く

発表演題「中聖牛の取組みと地域連携」として登録されています。発表者はGグループレンジャー代表の小林慧人君(京都大学院生)で2回目の発表となります。これまでの2回(15年・小林君、16年・北野君)の発表では奨励賞に輝きました。6月28日29日の両日がプレゼンテーションとなります。6月初旬までに論文提出、そしてプレゼン用パワーポイントを提出して発表当日となります。

●親子花見乗船体験と木津川展は4月8日に開催

府営団地10時開始となります。よろしくお願いいたします。前日準備は7日9時府営団地第3集会所集合で始めます。

昨年は538人の取組みとなりました。あいにくサクラの開花は遅れに遅れて蕾状態でした。今年は花いかだになってくれればと思っています。ご友人ご案内ください。乗船体験は到着順に乗船名簿をご記入いただきます。小学生低学年と幼児は保護者同伴です。幼児の一人参加は認められませんのでご注意ください。カヌーの講習は行いません。ボートとカヌーは本部で用意するライフジャケット必着となります。

●春の野草を食する会は4月14日(土)

10時からの開始で12時過ぎ終了予定です。開催場所は里山農園。楽しいひと時を演出しましょう。